

PISTACHIO CHOCOLATE



Strawzilla & Berry Kong

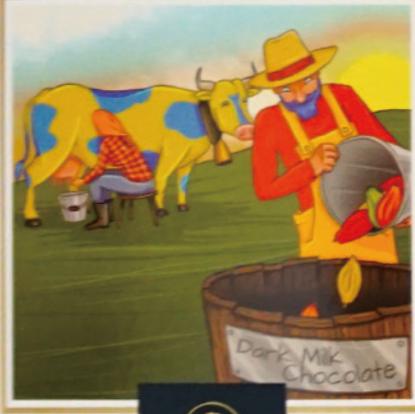


Venezuela 65%

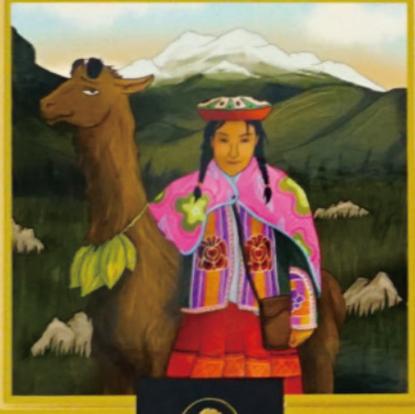


上本町
カカオ豆まき
福はウチ

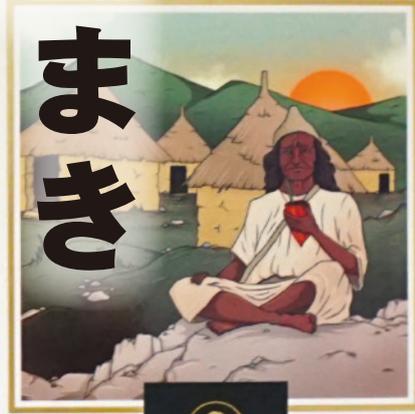
Dark Milk Chocolate



Ecuador 70%



70% | Columbia Heirloom Cacao



70% Belize



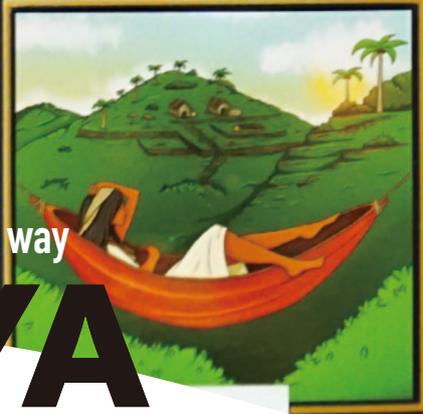
Do small things in a great way

ZENIYA

& LIFE

— 最高の普通を —

65% | Colombia Sierra Nevada



バレンタインデーにおすすめ! Bean to barチョコレート





ちょっとしたことを、ちゃんとやる。
そうとしか言いようのない基本を
大切にしたいと思います。



鬼は外でいいの？ — 節分のそもそもを考える —

節分には「鬼は外、福は内」という言葉とともに豆をまく習慣があります。年中行事として親しまれていますが、そこには災いや不安と向き合ってきた人々の知恵が込められています。鬼とは何者なのかを考えながら、節分という行事のそもそもの意味を問い直してみます。

民俗学の視点では、鬼は単なる悪者ではありません。鬼は山や森、夜、季節の変わり目といった、人の生活の外側や境目に現れる存在として語られてきました。疫病や天災、

突然の死など、理由の分からない出来事は人々に強い不安を与えます。そうした理解しがたい現象に姿を与え、教訓として語るために生まれた

のが鬼であつたと考えられます。このような見方は、柳田國男以来の民俗学で繰り返し示されてきたものです。日本昔ばなしでも、鬼は単なる悪役ではなく、どこか人間味を帯びた存在として描かれてきました。

能楽などの伝統芸能に描かれる鬼の姿も、同じ発想の延長にあります。舞台上に現れる鬼は、ただ恐ろしい存在として暴れ回るのではなく、

せん。多くの場合、鬼は人の苦しみや執着の結果として顕れ、物語の中でそれを語り、やがて鎮まっています。芸能の場では、鬼は一定の型と作法の中で扱われ、仕舞には法力などによって制御される存在として位置づけられています。これは、社会にとって不安定な要素を排除するのではなく、受け止め、形にする役割を芸能が担ってきたことを示しています。ヒーロー物のアクション作品でスカツとするのとは違います。

NHKの連続ドラマ『ばけばけ』をきっかけに、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の書物を読みました。鬼や異形といった存在に対して、排除ではなく、まず理解しようとする視点の大切さを改めて感じました。当時の西洋から見た異国である日本を、あたたかく見つめる八雲の姿勢

には、豊かな感受性と包容力があります。異なるものを一方的に恐れるのではなく、その背景に目を向ける姿勢は、古くからの民俗的な感覚とも重なっています。

節分の豆まきも、こうした考え方で重なります。鬼は力で打ち負かさ

れるのではなく、決まった言葉と動作によって外へ送られます。民俗学では、この行為を、災いを単に追い払うためのものではなく、いったん受け止めたうえで鎮め、日常の世界から距離を取らせるための儀礼と捉えます。

注目すべきなのは、鬼が完全に消される存在ではないことです。節分は毎年行われ、鬼もまた毎年現れます。これは、災いや不安が人の暮らしからなくならないことを前提とした考え方だと言えるでしょう。だからこそ能楽においても、鬼は討ち滅ぼされるより、苦しみを表現しきつたのちに鎮まり、哀れさを感じさせる存在として描かれるのです。

では、現代の私たちは「鬼は外」という言葉を、実感をもって使っているでしょうか。鬼を単純な悪として外に追いやることで、本来向き合うべき不安や違和感が消えるのでしょうか。節分の機会に内なる鬼に向ける眼差しを、少しだけ温かいものへと変えてみると、新しい年に迎える福に変化があるかもしれません。

(文・正木)



ゼニヤの
ホンキ

Earnest of
ZENIYA

本気だからこそ伝わる。
伝えたいから本気になる。
どちらも大切にしてお届けします。



錢屋寄席のすゝめ



錢屋本舗本館では、オンラインで行うイベントはあまりありません。そこには「体感してほしい」という思いがあります。人と触れ合ったり、実際にモノを手に取ってみたり、身体を動かしたり、その場で経験し感じることを重要視しています。

また、イベントには「生」の良さがあります。弊社が開催するイベントの中でも『錢屋寄席』はまさにそれで、初めて寄席に来てくださった方、今までCDでしか落語を聴いたことがなかった方々が仰るのが、「実際に観ると違う」です。

「漸にのめりこめた」「表情や動作を近くで見ることができて、臨場感があった」「会場との一体感が良い」などアンケートでよくお見掛けします。落語家さんは何の漸をしますか初めから決めているのではなく、本題に入る前の枕で参加者の反応をみて演目を決めるそうです。つまり会場にいるお客様と落語家さん揃って作られる雰囲気があり、それはやはり会場にいる人にしか体感できないその場限りのものなのです。

なぜいいの？

そもそも錢屋寄席開催のきっかけは、生國魂神社の境内が上方落語発祥の地であるのに、この地には寄席がなかったことです。生國魂神社の



参道に位置するこの地で落語を体験して欲しい。そんな思いがあり多目的ホールに工夫を加え、舞台には松羽目、高座台、金屏風を準備し寄席の会場を作っています。会場入り口の暖簾、提灯、看板、のぼりも特注品です。

また、『錢屋寄席』では上方落語、江戸落語両方楽しんでいただけれますので、漸し方だけでなく、同じ漸でも内容が東西で少し違うことに気づくこともあるでしょう。専用の寄席小屋ではありませんが、お客様に本物の体験をしていただけるようホンを取り組んでいますので、是非通年でお越しいただけると幸いです。

(文・前田)



《展示販売会》
見野大介 個展

日時：2026年2月7日(土)～14日(土)
11:30-17:00
※9日(月)はお休み
場所：錢屋ベース ソラソウ
(錢屋本舗南館7階)

詳細はコチラ！



2026年2月7日(土)～14日(土)、陶芸家・見野大介さんの個展を開催いたします。
奈良・川西町に陶芸工房『八鳥』を構え、土と向き合いながら日々のうつわを生み出す見野さん。静かで凛とした佇まいの中に、やさしい温もりも感じられる器は、使うほどに愛着が深



う・つ・わ・が、食卓をあたたためる。



まります。
会場は、縄文時代の竪穴式住居をテーマにした居住空間『錢屋ベースソラソウ』。街なかにもありながら

も、土や風、自然の気配が漂う空間に、見野さんの美しい器が並びます。
会期中の2月7日(土)・8日(日)には、玉造『料理とワイン 歩き』の春木シェフによる特別ランチもご用意。自家製パンと旬の魚介を盛り込んだ温かいブイヤベース。デザートを、見野さんの器で味わうひとときを過ごしませんか。
冬のソラソウで、うつわと料理が出会う瞬間。お食事はご予約も承ります。詳細はWebページにてご確認くださいませ。



(文・小山)



紅茶付き



《イベント》
2月 錢屋本舗本館 本の虫クラブ

日時：2026年2月22日(日) 11:00～12:30
場所：錢屋ギャラリー
(錢屋本舗本館1階)



(文・小山)

お気軽に語り合う会です。小説でも漫画でも構いません。本の感想を自由に話したり、思いがけない本との出会いを楽しんだり；読書初心者も大歓迎！上手に話せなくても大丈夫です。気負わず、のんびり語り合い、本を通じてリフレッシュしましょう。

お気に入りの本を語ろう！



《ZENIYA LIVE》

池川真常デュオライブ ～ウエホンマチ・シティ・ポップ～

詳細はコチラ!

日時：2026年2月15日(日) 14:00～15:45(開場：13:30)
※途中15分休憩がございます
場所：銭屋ギャラリー (銭屋本舗本館1階)



懐かしくて新しい音楽



様々な音楽家を招き、銭屋ギャラリーを会場に演奏会を行う『ZENIYA LIVE』。今回お迎えするのは、サククス・池川真常氏とピアノ・濱田卓也氏による池川真常デュオ。クラシカルなサククスとジャズピアノを組み合わせ、自由で親しみやすい音楽をお届けしています。

2月のZENIYA LIVEでは、シティポップをテーマに、都会的で洗練されたサウンドを披露する予定。銭屋カフェのドリソクやスイーツを味わいながら、暖かな空間で音楽に包まれるひとときをお楽しみいただけます。くつろぎながら楽しめる心地よい時間は、音楽好きの方はもちろん、ライブが初めての方にもおすすめです。あの時代の空気を、シティポップとともに。

(文・下田)



銭屋茶屋

ちまきと焼き芋を食べに行こう



《イベント》

銭屋茶屋 ～中華ちまきと焼き芋の会～

日時：2026年2月21日(土)
①12:00～13:00
②14:30～15:30
③17:00～18:00

場所：銭屋サロン
(銭屋本舗本館4階)

詳細はコチラ!



(まか)か

(文・下田)

1日限定の『銭屋茶屋』では、中華ちまきと焼き芋をご用意。上本町の中国・広東料理店『黄龍』さんに、この日のために特別に作っていただく中華ちまきは、数量限定です。冷えた体をやさしく温める、冬の銭屋茶屋ならではのおもてなし。どなたでも気軽にお立ち寄りください。



銭屋ギャラリーで出会う、特別な寄席



写真：市丸鉄也

桂吉坊さんが多彩なゲストを迎えてお届けする特別な寄席、『銭屋ラリー亭』。演者との距離が近

く、落語や語り芸の表情、声の抑揚、間の取り方までを間近に感じられるのが魅力です。会場は、レトロな趣が残る銭屋ギャラリー。客席との隔たりが少ない空間だからこそ、ひとつひとつの所作や息づかいが鮮やかに伝わり、舞台が、生きていることを実感させてくれます。

(文・下田)

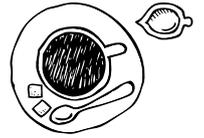
《イベント》

第6回 銭屋ラリー亭

日時：2026年2月21日(土)
①第一部 13:00～14:30 ②第二部 15:30～17:00
③第三部 18:00～19:30
場所：銭屋ギャラリー (銭屋本舗本館1階)

詳細はコチラ!





ちょっとした時間、
ちゃんとした美味しさを

夜のカフェタイムに、
アイリッシュコーヒーを

寒さが深まるこの季節にぴったりのアルコールドリンクをご紹介します。

銭屋カフェ夜の看板メニューである銭屋アイリッシュコーヒーは、銭屋自家焙煎珈琲コロンビアとシェリー樽で熟成させたカスクストレンジスのアイリッシュウイスキーを贅沢に使用。仕上げには、冷めにくいように濃厚でありながら口溶けの良い生クリームを

ふんわりと重ねています。ウイスキーの独特な甘い香りとコロンビアのバランスの取れた苦味、そして生クリームのまろやかさが重なり合い一体感を生み出します。

まずは生クリームを混ぜずそのまま一口。途中からはお好みで混ぜながら、寒い夜のカフェタイムをゆったりとお過ごしください。
(文・八尾田)



18:30~の提供となります。

アイリッシュコーヒー
¥1,500(税込)



Discover ZENIYA

—銭屋再発見—

銭屋マルシェの商品を
使ってみて!

お風呂まるごと洗剤
[木村石鹸]



パッケージの白を基調としてスッキリとしたデザインがお気に入り。



銭屋マルシェには他にも便利なアイテムが並びます。



銭屋カフェのエントランスにある「銭屋マルシェ」には、木村石鹸さんのさまざまなアイテムが並んでいます。その中で以前から気になっていた「お風呂まるごと洗剤」を使ってみました。

入浴後のお湯に洗剤を溶かし、椅子や洗面器、お風呂のフタまで丸ごと浸すだけ。正直「ほんまかなあ」と半信半疑で、ポンポンと放り込んでみました。

翌日、洗い流してみると、思わず「おっ!」と声が出るほどつるつるに。浴槽もキュキュツと音が鳴り、ゴシゴシこすらなくてもお風呂掃除が完了しました。バスタブ、洗面器、椅子、フタなど、汚れが気になる場所が商品名の通り「まるごと」きれいに。

銭屋マルシェには、ほかにも便利な洗剤シリーズが揃っているの、またいろいろ試してみたいと思います。
(文・西谷)



嬉しい2回分入り!!



『ピース・バイ・チョコレート』

シリア内戦により難民となった家族はカナダへ移住する。家族と平和、そして人々に幸せを運ぶチョコレートを描いた、実在するチョコレート店の心温まるサクセスストーリー。

原題: Peace by Chocolate / 監督: ジョナサン・カイザー / 製作総指揮: チャディ・ダリ / 製作国: カナダ / 製作年: 2021年 / 時間: 96分



父はシリア1
のチョコレート
ト職人。移住
先の人々の支
援を得て販売
を開始し、成



世界へ平和を届ける チョコレート

#カタチがないものに心を込める

いよいよバレンタインデー本番ですね。愛の形は人それぞれ、今回の銭屋シネマは、様々な困難に見舞われながらも最後まで諦めずに夢を追い続ける、ある家族の愛の物語です。

主人公はシリア内戦により、医師への道をあと一歩のところまで絶たれてしまったが、それでも諦めず医学部卒業を目指し方法を模索する。一方で



~ちょっと考えてみたいこと~

- チケット代
大人: 1,800円
学生: 1,000円 ※学生証が必要です
- お問い合わせ
銭屋本舗 06-6772-1245

ようこそ銭屋シネマへ。
ここは映画館ではない空間。
シネマコンプレックスでは流さない
“ちょっと特別な映画”を、
コーヒー片手に
ゆっくりお楽しみください。

ご予約・作品情報は
こちら



地球のウラガワのこと「知らない」ままじゃもったいない。無関係な世界など無いのだから。映画との出会いは、今あなたが見えている景色を少し変えてくれるかもしれない。そして新しい自分に出会えるかもしれない。

功への道が開いたかと思われたが——。
父と子、それぞれの夢への想いにより、ぶつかり、悩み、それでも諦めない強さとそれでも続く家族への愛、そして人々へ幸せを運ぶチョコレートにまつわる物語を描いた、実在するチョコレート店のお話です。



「内戦、難民」といった言葉が目立ちがちですが、それはあくまで背景とし、一人ひとりの人生が立体的に描かれています。日々の忙しさに忘れてしまいがちになりませんが、この機会に皆さんの夢や愛の形について、改めてゆっくり考えてみませんか？

(文・榮)

ZENIYA CINEMA REPORT 銭屋シネマ レポート

2025.12.19
『ハッピー・リトル・アイランド』



「足るを知り、分かち合いながら生きる」とは、どういう事だろうと思いました。「足るを知る」とは？ 初めてこの言葉を目にしたときは、意味が理解できませんでした。

映画の舞台、イカリア島はギリシャの首都アテネから遠く離れた離島で、決して裕福ではないのにみんな幸せに生きています。何故ならその幸せは「何でもあって不自由がない」ではなく、「必要最低限のもので満足する」からです。それを知ったとき、私は心が少し軽くなったような気がしました。先にあるものを掴もうと、無いものを生み出そうとすることが求められる世界ですが、まずは今あるものを大切に。それができないければ、その先もないのかもしれないと考え直された作品でした。

(文・榮)

2/18(水)

11:00-14:00

フランス家庭料理講座

講師／井手美加

参加費／8,000円(試食あり)

フランス料理というと、難しく家では作るのは無理…と思ってしまうかもしれません。でも、フランスの家庭で日常食べられている料理は意外なほどシンプルで簡単です。フランスのお話を交えながら、身近な食材の七変化をお楽しみください。『冬に寄り添う温もりフレンチ』をテーマに、寒い季節に身体をいたわる、野菜たっぷりのやさしいメニューをご紹介します。



Cooking

2/13(金)

午前の部11:00-12:00

午後の部13:00-14:00

美姿声講座

講師／横山紀江

参加費／初回体験2,000円

2回目以降3,000円

姿勢と呼吸を整えるだけで、声も表情も若々しく。プロによる指導で、フェイスラインを引き締め、あなた本来の美しい声を呼び覚まします。声にコンプレックスがある方、印象を明るくしたい方におすすめのレッスンです。



Culture & Life

2/5(木)

10:00-12:30

有田焼色絵付け講座

講師／伊賀恵理子

参加費／14,000円

伝統ある有田焼の技法の色絵付けで、2026年の干支『午(うま)』、または3月の『お節句(雛人形)』を描いた四角皿を制作します。初心者の方も安心してご参加いただける講座です。ゆったりと色絵付けを楽しむ時間をお過ごしてください。



Culture & Life

2/17(火)

12:00-14:00

発酵講座～酒かす料理～

講師／畑中伸洋

参加費／7,200円(試食、お持ち帰りあり)

畑中先生が店長を務める『米紀行ハタヤス』で販売する、搾りたての日本酒の酒かすを使った発酵講座です。酒かすの効能や美味しい保存方法、日々の食卓に取り入れやすい料理法を、実践を交えて学びます。当日作る料理以外にも、酒かすレシピを多数ご紹介いたします。



Cooking

2/5(木)

10:00-14:00

パン講座

講師／福島健治

参加費／7,000円(焼き立てパンランチ・紅茶付き・お持ち帰りあり)

大阪天満橋にある大人気のブーランジェリー『Boulangerie FUKUSHIMA』。オーナーシェフ・福島健治氏による人気のパンレッスンです。テーマは『冬のパン』。パンの世界の楽しさを体験してみませんか？



Cooking



いつもの暮らしをもっと豊かに、そして丁寧に。



ZENIYA

銭屋塾

2026.1/27~2/28

レッスン スケジュール



銭屋塾では、料理・文化・ものづくり・健康などに関する様々な講座を開催しております。集い、学び、体験することの素晴らしさを再発見してみたいかがでしょうか。

開催についての最新情報は銭屋塾Webサイトでご案内しております。



銭屋塾

1/27(火)

11:00-14:00

発酵おうちごはん 事始め

～たくあん仕込み～

講師／中川奈央

参加費／7,000円(簡単ランチ・お持ち帰りあり)

宮崎の昔ながらのヤグラ干しの大根を取り寄せて、食感が素晴らしい昔ながらのたくあんを仕込みます。本格的な冬を迎え、日本の暮らしの中で受け継がれてきた『たくあん仕込み』を学ぶ講座です。



Cooking

2/5(木)・2/12(木)
2/19(木)・2/26(木)

Exercise

13:30-14:30

ゆったり身体整えヨガ

講師/Se2ko

参加費/2,200円(初回体験1,100円)

ヨガは、運動が初めての方でも安心して始められるエクササイズのひとつです。無理のないポーズやご自宅



でもできる動きを中心に、体の基本的な仕組みも学びながら、日常生活に活かせる内容をお伝えします。週に1回、1時間のヨガを習慣にして、心と体を整えていきましょう。

2/5(木)・2/7(土)

Exercise

2/12(木)・2/26(木)・2/28(土)

木19:00-20:30/土10:30-11:50

コアポスチャー トレーニング

夜(木)/昼(土)クラス

講師/るみ

参加費/4,400円(月謝コース2回7,800円、3回10,500円、4回12,000円)

中高年の方にぴったりのレッスンです。ご自身の身体の歪みを理解し、日常生活の中でも正しいポジションを意識して過



ごすことで、少しずつ骨の向きが整っていきます。骨の向きが整うと、自然と使うべき筋肉が目覚め、気がつけば若い頃以上のスタイルアップも期待できます。

2/22(日)・2/25(水)

Exercise

11:00-12:30

エクササイズ& ウォーキング

講師/亀田智実

参加費/3,300円 ※『輪っかタオル』は初回無料貸出。ご購入の場合は1,000円

姿勢を変えれば、毎日が変わる! 普段の姿勢を見直すことで印象アップ、腰痛などの関節痛も軽減。身体はラクに、心は前向きに! 『量より質』を大切に、ただ歩くだけではなく、正しい姿勢で代謝率アップを一緒に目指しましょう。

2/23(月・祝)

11:00-14:00

からだ喜ぶ日常ごはん

～皮から作る小籠包～

講師/吉田より子

参加費/7,800円(試食あり)

お店で食べるもの、と思われがちの小籠包ですが、実はご家庭でも皮から手作りすることができます。粉をこね、生地を伸ばし、ひとつひとつ包む時間は、手を動かすほどに心も整うひととき。蒸したての小籠包を囲み、季節の副菜やデザートとともに、ほっとする食卓を味わいましょう。



Cooking

2/26(木)

Cooking

午前の部10:30-13:00

午後の部14:00-16:30

フランス菓子講座

講師/石澤真依子

参加費/7,800円(試食・お持ち帰りあり)

フランス菓子の定番『洋梨のシャルロット』を作ります。優しい味のヴァニラババロアとサクふわのビスキュイの組み合わせは本当に美味しくていつも大人気! 2月らしくハート型で、中には洋梨のバラを詰めて仕上げましょう。



2/23(月・祝)

Culture & Life

10:30-12:30

アロマクラフト講座

講師/寺澤里佳

参加費/6,500円(Organicハーブティー付き)

新しい季節のスタートに、頑張る自分へのご褒美として香りのプレゼントはいかがですか? 心と身体を癒すアロマの香りを



学び、楽しみ、暮らしに取り入れるアロマクラフト講座です。香りとお会い、ご自身だけの『お気に入りの香り』を見つけにお越しください。

2/25(水)

Cooking

11:00-14:00

野菜ソムリエの 旬野菜を味わう 料理教室

～フルーツマト～

講師/野口知恵

参加費/7,000円

トマトのリコピンは加熱することで吸収率が高まると言われています。冬ならではの味わいと、カラダにうれしいを併せ持つフルーツマト。簡単に季節を感じるフルーツトマト料理、その新たな魅力をぜひ一緒に味わいましょう。



2/9(月)・2/16(月)

Exercise

19:30-20:30

踊る整体®ベリーダンス

講師/Emi

参加費/3,500円(初回体験2,000円/月謝コース2回6,300円)

踊る整体としてのベリーダンス。それは、体の奥に溜まった緊張をやさしくほぐし、心を穏やかに整えていく時間。流れるような動きと心地よいリズムが、内側から本来の



美しさ呼び覚まし、心にのしかかっていた重荷や、体に残るストレスをそっと解き放つてくれます。



会議室 / 8席



研修室 / 12席



面談室 / 4席



うえほんまち 銭屋ホール / 最大220席



セミナー室 / 20席



銭屋スタジオ

銭屋本舗のレンタルスペース

大阪上本町駅から、徒歩3分。
“ちょうどいい”レンタルスペース、あります。

清潔で管理が行き届いたレンタルスペースをお探しではないですか？
個人使いのパーティーから、企業の面接、弾き語りライブ、作品の展示会など…
用途に合わせて様々なお部屋をお選びいただけます。

詳しくはコチラ
相談、空き状況など
お気軽にお問い合わせください。



ご利用までの流れ

1 空き状況の確認

ご希望の会場、日時、
人数、用途をお伝えく
ださい。

※用途により審査がございます。

2 申込書の提出

申込書をお送りしますの
で、内容をご確認いただき
ご提出ください。

※②の時点では仮予約となります。

3 ご入金

申込書・ご入金が整い
次第「予約完了」です。

4 当日

ご利用開始15分前に、
銭屋本舗本館2階事務所
へお越しください。

所在地

大阪府大阪市天王寺区
石ヶ辻町14-6

アクセス

近鉄大阪線・奈良線、大阪上本町駅より徒歩3分
大阪メトロ谷町線・千日前線、谷町九丁目駅より徒歩10分

お問い合わせ

☎ 06-6772-1245 (株)銭屋本舗
✉ rental@zeniyahompo.com

俳句に親しみ、
言葉を磨く



第112回 2025年12月13日

錢屋句会

兼題 去年今年、水鳥、枯蓮（他、自由題2句）

枯蓮や沼の呼吸を通す茎

上田久之

先生評 枯蓮の折れた茎は、水面に突き出していて衰れを誘います。しかし水面下の地中では根を張っていて茎を通して呼吸をしていると見立てたのです。枯蓮の地下茎が息づいている様子が目に浮かぶようです。

熊野灘の水やはらかに浮寝鳥

篠さとみ

先生評 水鳥の句だと湖や沼が多いのですが、作者は海の水鳥を描きました。熊野などは波が荒い所ですが、湾内の静かな場所で波に揺られているのでしよう。「水やはらかに」の表現が秀逸です。

ありがとうと口をつきたる大旦那

西野徹

先生評 大旦那は元旦の朝のこと。元旦には「おめでとう」と言うのが普通なのですが、作者はふと「ありがとう」と言う言葉が口をついてきました。辛いこと・うれしいことがあったのでしよう。感謝の気持ちが元旦にもかかわらず「ありがとう」の言葉となって現れました。

冬菫出会ひしころへ戻る旅

松本華子

先生評 この出会いはまだ初々しく恋をしていた頃でしょうか。その頃のデートしていた場所に戻るといふ旅です。なんとロマンティックな。冬菫の季語が可憐な恋の時代を象徴しています。

よみがへる力たくはへ枯蓮

原和人

鑑賞 枯蓮は水面では折れ曲がったりして枯れているのですが、実は地下茎と繋がっています。次の年の蓮の芽吹きのために「冬の間は力を蓄えている」という見立てです。

季語のあれこれ

講師 原和人

【新年の季語の植物】

俳句（歳時記）には春夏秋冬の四季とは別に「新年」という季語の区分があります。新しい歳を迎える淑気が漂う特別な季節なのです。

襟

傍題… 杠・譲り葉、親子草

古い葉が新葉に譲るように落ちるのでこの名があります。子孫繁栄の縁起物として使われます。

歯朶

傍題… 羊歯、裏白、鳳尾草

正月の歯朶は裏白を指します。夫婦和合の象徴です。うらの白色は夫婦とも白髪の長寿に擬えたのです。

福寿草

傍題… 元日草

黄金色の花とともに、名前のめでたさ（福・寿）により正月の花とされるようになりました。

イベント レポート
Event Report

一足さきに楽しんだ、
メリークリスマス！



Merry Christmas

【イベント】
クリスマスマーケット

3日間開催した錢屋のクリスマスマーケット。アクセサリーやブローチなど、贈り物にもぴったり作品から、焼き菓子、シュトレンなどなど、錢屋ギャラリーにぎゅつと美味しいもの、美しいものたちが集まりました。
通りがかりの親子連れや、大切な人への贈り物を選ぶお客様の笑顔に、スタッフも自然と笑顔に。私もシュトレンを購入しました。少しずつ大切にと思っていたが、クリスマスを待たずに全部食べてしまいました。

（文・小山）



銭屋物語

銭屋本舗がお届けするモノやコト その背景にある大切な思いを伝えたい

落語は、 もっと自由でいい

銭屋ラリー亭のはじまり

銭屋ラリー亭のきっかけは、桂吉坊さんのひと言でした。

「カフェで落語会、しませんか？」

寄席は然るべき「場」で行うもの——私たちも、いつの間にかそんな前提を持っていたように思います。

上方落語発祥の地のひとつが生國魂神社の境内にあると知り、上本町という土地で寄席をひらきたいと生まれた『うえほんまち 銭屋ホール』。従来通り、このホールでの寄席を依頼するために吉坊さんに相談すると、返ってきたのがまさかの冒頭のお言葉でした。

型にとられない 落語の原点

江戸初期、噺家たちは湯屋や床屋、蕎麦屋など、人の集まる



場所で芸を磨いてきたといわれます。吉坊さんの語る、型にとられない落語の在り方に触れるうち、「こうでなければならぬ」と思い込んでいたのは、私たち自身だったのだと気づかされました。

演じる人がどうしたいか、その場でどう感じるかを大切にすること。その積み重ねが、ぎつとお客様の心にも残る時間になる。そうして生まれた銭屋ラリー亭は、演者との距離が近く、息づかいまで感じられる寄席です。

伝統芸能を、もっと自由に、もっと身近に。銭屋本舗から、新しい落語の愉しみ方をお届けします。
(文・下田)



写真・市丸鉄也



南館屋上で活動中

銭屋 やさい部 日記

パプリカ栽培リベンジへ

パプリカの栽培で、実の色づきが緑→茶→赤と変わっていく様が面白く、2025年の夏も栽培するべく植えました。

ところが、茎や葉っぱはグングン大きくなるものの、ひとつも実をつける事なく終了。コガネムシの幼虫が土の中にたくさんいた事も原因のひとつだと思いますが、他にも要因があったのかもしれない。



2026年はリベンジしたいです。先日、土をふるいにかけ、準備万端です！ (文・岡田[聖])

スタッフフリートーク

振袖に込めた、母から娘へ、そして未来へ

銭屋カフェー 井森



新春の候、寒さが一段と身にみる季節となりましたが、街では晴れ着姿も見られ、年の始まりらしい華やきを感じます。皆さま、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

母が着物好きだったこともあり、幼い頃はお正月になると着物を着せてもらい、親戚の家へ出かけていました。昔は初詣でも着物姿の人を多く見かけましたが、最近は少なくなりましたね。それでも年が明けると、初釜や成人式などで街が華やき、新しい年の始まりを感じます。

成人式といえば振袖ですが、私の住んでいた地域では華美に、娘が選んだ振袖と、私が着

せなかった振袖が一致した時は本当に嬉しかったです。成人年齢が18歳となり呼び名も変わりましたが、友人の結婚式などで袖を通してくれる姿を見るたび、あと何度見られるのだろうと少し寂しくなります。いつか孫が生まれ、またこの振袖に袖を通す日が来ることを願い、大切に受け継いでいきたいと思っています。



銭屋社員 育児エッセイ ①

子育てのはじめに思うこと



第一子を出産し、育休中の現在。子育てをするようになって、こんなにも感情が揺さぶられるとは思っていませんでした。これまでは、予定を立て、対策を考え、少し余白を持っておくことで、だいたいのことは乗り越えられてきた。でも子育てでは、それが通用しない場面が

多々ある。やりたいことが十分の一も進まないまま、一日が終わることだ。そんなときに意識しているのが、面白がる、ということだ。「おっと、これは想定外」。そう吹きながら、思い通りにいかない出来事もいいかと思えるようになった。

計画通りにはいかない日々の中で、目の前にいる一人の人間にどう向き合うかを考えながら、自分自身も少しずつ育て直されている気がしている。

(文・合田)





雨あがりの虹

Vol. 60

監修：正木大貴【博士(医学)】

教育関連の制作を仕事とする銭屋本舗の子会社サン・ロワから、子供の成長を支えて晴れやかな日々を送れるような小さなアイデアや提案をお届けします。いろいろある毎日でも、雨上がりには虹が見えますように！



ココロ
コミュ

失敗なんて怖くない！

子どもの つまずきを 成長の糧にする、 親のサポート術

3



日常生活で、
様々なことに
挑戦させてみる



「失敗したらどうしよう……」「間違えたら友達に笑われるかも？」——新しいことに挑戦したり、人前で発表したりする場で、そんな不安を感じる子どもは少なくありません。しかし、親や教師から「間違っても大丈夫」といわれることで安心して、失敗を恐れず伸び伸びと行動できるようになることもあります。第3回は、失敗を成長の糧にするための親のサポート術を考えましょう。

様々なことに挑戦させて、成功したら褒めてあげ、失敗したら「失敗しても大丈夫だよ。やり直すうちに上手になっていくんだよ」と、繰り返し言葉で伝えることが大切です。

また、結果に関係なく、新しいことに挑戦する勇氣を持たたことをしっかりと褒めてあげましょう。

さらに、言葉だけでなく行動で「失敗は怖くない」と理解させるために、子どもと一緒に料理やスポーツ、ゲーム、キャンプ、釣りなどのアクティビティをしたり、地域のイベントに参加したりすることもおすすめです。

料理なら「卵焼きがうまく折れたためない」「味が薄すぎた」などの失敗をしても、「スクランブルエッグにしちゃおう」「マヨネーズをかけたら美味しくなった！」など、やり方を変えたり、工夫をしたりすることで何とかなる体験をさせます。習い事などは、よいきっかけになるはずですよ。



親の失敗体験と、
そこからの学びを
共有する

「お父さんやお母さんも、子どもの頃は失敗ばかりだったんだよ」と、ちよつと笑える失敗談を話して聞かせてあげましょう。「失敗って恥ずかしいことじゃないんだ」と伝えれば、子どもも気持ち楽になるはずです。

また「お母さんはこんな失敗をしたけれど、いい勉強になった」と、失敗から何を学んだか、その学びがどんな役に立ったかを伝えれば、子どもが「失敗って、次に活かすことができるんだ」と気づくように導くことができます。

頑張ってきた
プロセスを認める



成功したという結果だけを褒めると、子どもは「失敗＝駄目なこと」と捉えがちです。

失敗した時も、「残念だったけれど、ここまで頑張ってきた努力は絶対に無駄にならない。次に活かせるはずだよ」と、努力の過程を認める言葉をかけます。

そうすれば、子どもは失敗を恐れずにチャレンジする勇氣を持ち、失敗から学ぶ力を身につけることができます。また、努力することの大切さや、諦めない心の強さを育むことにつながります。

このように子どもの失敗を親がサポートすることで、子どもには前向きな変化や成長が見られます。次回は、引き続き親ができるサポート術を考えます。

私たちの
価値観

ゼニヤの ウチ

INSIDE
of ZENIYA

国語のテストでは、「創造」の反対は「破壊」が正解だと教えられます。しかし、この整理は創造の本質を捉えているでしょうか。現実には、破壊を伴う創造も、伴わない創造も存在します。それにもかかわらず、反意語として固定されることで、創造は「特別な人が無から何かを生み出す行為」と誤解されがちです。私はむしろ、創造の反対は「思考を固定化する教育」ではないかと感じます。

言葉の整理の仕方ひとつで、私たちの思考の可能性は容易に狭められます。その結果、試行錯誤や組み替え、意味の更新といった、身近で日常的な創造行為が見えにくくなってしまっているのです。

【 # 創造とは？破壊の反対から考えてみる。 】

私が考える創造とは、既に存在する情報や経験、価値のあいだに、これまで意識されてこなかった関係を見だし、新たな意味として成立させる行為です。創造は無から有を生むことではありません。同じ要素であっても、問いの立て方や視点が変われば、世界の見え方は一変します。その変化の瞬間に、人は創造を感じるのではないのでしょうか。

(文・正木)



錢屋本舗に転職してから、気づけば10年以上が過ぎた。あの頃、会社のすぐそばに石ヶ辻公園があると知り、「こんな場所に公園があるんだ」と思わず心が弾んだのを覚えている。初めて歩く街で見つけた、小さな安らぎのスポットだった。

石ヶ辻公園は約2500平米のこじんまりした公園で、ブランコや滑り台、複合遊具があり、春には桜も咲く。子どもや家族連れ、近所の人たちがのんびり過ごす、あたたかい雰囲気のところだ。

昼休みには同僚とベンチでおしゃべりしたり、日差しの中でぼーっとしたりした。桜が舞う季節は眺めているだけで気持ちよくなるんだし、暑い時期は通り抜けるだけで季節の変化を感じられた。

今ではあまり訪れなくなったけれど、公園のそばを通るたびに、入社した頃のワクワクした気持ちや「ここで頑張ろう」と決意した日のことがよみがえる。

石ヶ辻公園は、私の節目を思い出させてくれる大切な場所だ。

(文・西野)



石ヶ辻公園

ZENIYA
HONPO



取りまく
環境

ゼニヤの ソト

OUTSIDE
of ZENIYA

「はじまりを 思い出す場所」

「はじまりを思い出す場所」

「はじまりを思い出す場所」

銭屋カフェー 06-6770-5770

zeniya_cafe fb.me/zeniyacafe



企画・制作・発行

株式会社銭屋本舗

06-6772-1241

大阪市天王寺区石ヶ辻町14-6

https://zeniyahompo.com/



バック
ナンバーは
こちら



zeniya_hompo

fb.me/zeniyahompo



未来の 上本町

M I R A I 寄書 UEHONMACHI

10年前と今とで、この町は何が良くなって何が悪くなったか。そして10年後は？暮らす、働く、楽しむ、学ぶ、育てる、育つ、老いを迎える…。この町を歩き交うさまざまな人が、それぞれの思いで描く10年後の寄せ書きです。

10年後の上本町にも、 濃い「いいね」が 続くように。

初めて上本町を訪れたのは会社の面接の時でした。今年から株式会社山田念珠堂で働いています。数珠のメーカーであり、百貨店などで仏具等を販売している会社です。

上本町は、働くまで訪れたことがなかった私にとって、緊張感のある街でした。少しごちゃついていて、スーツに身を包んだ人が目につき、「みんな働いていてすごいなー」と（笑）。遊びに来る場所っていう感覚はなかったです。でも、「本の虫クラブ」に参加したいと思い銭屋本舗さんに伺って、イメージがかなり変わったと



数珠作りの確かな技術を持つ職人さんが社内にはいます。職人さんたちは本当に器用な方々です。

思います。この街の懐の深さを感じました。生活がありつつ、銭屋本舗さんのような豊かな刺激を受けられる場所もあって、私が働く場所でもあって。

また、私から見ると、お湯で溶かすコーンスープのダマみたいな街だなと思います。ダマの中のよう密かな場所でも、スプーンでつつくとさっくり割れて、私のような新参者を受け入れるという感じ。まだまだ、面白い場所がたくさんあるのだろうと思



数珠に使用する糸の棚。ここで作っているからこそその景色です。

いました。

弊社は創業160年越えです。私は店舗の運営管理担当ですが、Instagramでマンガを投稿したり、商品を開発させてもらったり、とても自由にさせてもらっています。ゆつたりと歴史と変化を

受け止める上本町だからこそその企業かもしれないですね。

今後は数珠メーカーとして、文化の発信をしていきたいです。文化はこれまで肯定してきた人が沢山いるということから、濃目の「いいね」の集合体だと思えます。近年の時代の変化は激しく、お葬式や仏教に関する「いいね」は薄まってきています。上本町という街の「いいね」の中身も変化があるのではないのでしょうか。自身が変わったとしても10年後の上本町における濃い「いいね」を支える一端になれたらと思います。



株式会社山田念珠堂
事業企画部 百貨店事業G
牧野 瑛梨佳さん